

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年11月29日

計画の名称	池田市 水の安全・安心基盤整備（重点計画）（防災・安全）											
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	池田市											
計画の目標	浸水被害の軽減、下水道管渠の計画的な維持管理、耐震化により、安全・安心な市民生活の確保を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,824	A	4,824	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画的成果目標（定量的指標）  定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30当初)	(H32末)	(H34末)
1	下水道による都市浸水対策達成率を34.42% (H30当初) から35.32% (H34末) に増加。 都市浸水対策を実施すべき区域面積のうち、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。 下水道による都市浸水対策達成率(%) = (概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha)) / (都市浸水対策を実施すべき区域の面積(1003.31ha))	34%	35%	35%
2	重点対策地区における浸水深45cm以上を(床上浸水被害)74戸 0戸へ解消。 過去10年間の既往最大降雨(115mm/h)に対し、施設整備により重点対策地区である神田・城南地区の74戸について、浸水深45cm以上(床上浸水被害)を解消。また、緊急交 通路においては、機能保全水深20cm未満を達成する。 下水道管渠における浸水被害解消率(%)=床上浸水被害解消戸数(戸)/床上浸水被害戸数(74戸)	0%	38%	100%
3	下水道管渠における下水道総合地震対策事業期間内の機能確保率を8.5%(R3当初) から9.4%(R4末) に増加。 重要な幹線に位置付けられている管渠のうち、地震時にも下水道として機能が確保できている割合。 機能確保率(%)=管渠耐震化延長(km)/重要な幹線に位置付けられている管渠延長(56.7km)	8%	8%	9%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	池田市	直接	池田市	管渠(雨水)	新設	八王寺排水区(雨水管1)	雨水管 L=800m	池田市						188	-	
	A07-002	下水道	一般	池田市	直接	池田市	管渠(雨水)	新設	猪名川排水区(雨水管2)	雨水管 L=1,400m	池田市						255	-	
	A07-003	下水道	一般	池田市	直接	池田市	管渠(雨水)	新設	錆川排水区(雨水管3)	雨水管 L=400m	池田市						191	-	
	A07-004	下水道	一般	池田市	直接	池田市	管渠(雨水)	新設	江原川排水区(雨水管4)	雨水管 L=200m	池田市						55	-	
	A07-005	下水道	一般	池田市	直接	池田市	管渠(雨水)	新設	荒堀川排水区(雨水管5)	雨水管 L=100m	池田市						100	-	
	A07-006	下水道	一般	池田市	直接	池田市	管渠(合流)	新設	石橋処理分区(合流管1)	雨水管 L=200m	池田市						162	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	池田市	直接	池田市	管渠(雨水)	新設	浸水被害軽減事業	浸水シミュレーション、施設整備	池田市						2,213	1.25	策定済
		下水道浸水被害軽減総合計画																	
	A07-008	下水道	一般	池田市	直接	池田市	管渠(雨水)	新設	箕面川排水区(雨水管6)	雨水管 L=1,800m	池田市						1,310		-
	A07-009	下水道	一般	池田市	直接	池田市	管渠(汚水)	改築	下水道総合地震対策事業(管渠)	管渠の調査・耐震化 計画策定・詳細設計	池田市						350		策定済
											小計						4,824		
											合計						4,824		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
池田市上下水道部内で定量的指標の達成状況などを検証し、池田市公共事業評価委員会での意見聴取を実施	令和6年3月
	公表の方法
	池田市上下水道部ホームページ及び池田市上下水道部下水道工務課窓口にて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水管渠の整備を促進したことにより、都市浸水対策達成率が34.42%（H30）から34.71%（R4）となり、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全となる区域が増加した</li> <li>・重要な幹線に位置付けられている管渠を耐震化したことにより、地震時にも下水道としての機能確保率が8.5%（R3）から9.4%（R4）へ増加した</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して、雨水管渠の整備を推進し、安全安心な市民生活確保に努める</li> <li>・床上浸水被害戸数は、床上浸水対策下水道（個別補助金事業）の完成に伴い、解消される予定</li> </ul>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	都市浸水対策達成率	
	最終目標値	35%
	最終実績値	35%
2	床上浸水被害戸数の解消	
	最終目標値	100%
	最終実績値	0%
浸水被害軽減事業は、床上浸水対策下水道（個別補助金事業）へ移行したため		
3	下水道管渠機能確保率	
	最終目標値	9%
	最終実績値	9%